

からしだね

KARASHIDANE

「^と取^たって食^たべなさい。これはわたしの^{からだ}体である。」また、^{さかずき}杯^とを取り、^{かんしゃ}感謝^{いの}の祈^をりを唱え、^{とな}彼ら^{かれ}に^{わた}渡^いして言^{みな}われた。「^{みな}皆、この^{さかずき}杯^のから^{さかずき}飲^のみなさい。これは、^{つみ}罪^がが^{ゆる}赦^{おお}されるように、^{ひと}多く^{なが}の人のために^ち流^{けいやく}されるわたしの^ち血^ち、^{せいしよ}契約^{ふくいんしよ}の^{しやう}血^{せつ}である。」
(聖書：マタイによる福音書26章26-28節)

レオナルド・ダヴィンチの『最後の晩餐』には、キリストが死の前夜に弟子たちと食事をしたシーンが描かれています。キリストはパンを裂き「これはわたしの体」と言われ、ぶどう酒の杯を取り「これはわたしの血」と言われます。

これは、ユダヤ教が毎年祝う「^{すぎこしさい}過越祭」という時期の祝いの食事です。キリストと弟子たちは、ユダヤ教のお祭りの食事をしています。その祝いの内容は、紀元前1290年頃、神様がモーセを通してイスラエルをエジプトから去らせた出来事です。神様は、出発の前日に次のことを命じられました。

- ・小羊をほふり、肉を火で焼いて食べる。
- ・酵母を入れないパンを苦菜を添えて食べる。
- ・ほふった小羊の血を家の^{かもい}鴨居に塗る。

現代でも、ユダヤ教では過越祭を大切にします。酵母を入れないパンと苦菜（ホースラディッシュなど）、ぶどう酒、塩水、ラム（羊）肉が食卓に並び、聖書の朗読と解説、賛美歌をうたい、2時間ほどかけて食事をします。

ところで、キリストが弟子たちと過越の食事をしていたとき、この食卓にあるべき小羊の肉がありませんでした。なぜならキリスト自身が人間を救い出す犠牲の小羊となられたからです。それが、十字架の死の意味です。弟子たち

は、キリストの言葉に従ってキリストの体を食べ、キリストの血を飲むという行為を行いました。現代でも、キリスト教で洗礼を受けた人は、この食事をします。プロテスタント教会では^{せいさんしき}聖餐式、カトリック教会では^{せいたいはりよう}聖体拝領と言います。仮に、何らかの理由で知的機能を失ったときや、言葉によるコミュニケーションが取れなくなったときも、食べ、飲むことで、キリストとの交わりを保つことができます。

何を食べるか、誰と食べるかは、生きるうえで大切です。キリストは、いい人とも悪い人とも一緒に食事をしました。最後の晩餐には、キリストを裏切るペトロやユダがいました。いい人にも悪い人にも雨が降り注ぐように、誰にでも神の愛が注がれています。神が全ての人を愛しているように、人間も互いに愛し合い、互いに重荷を担い合い、相手の過ちをゆるすことが求められています。

また、これは目に見えない信仰の出来事です。が、聖餐式ではこの世で生きている人間だけでなく、天に^め召された人も共に集まり、復活したキリストの命と一緒にいただきます。食べ、飲むとは、体を通して、生きるために行います。聖餐式は、天に召された者と共に祝う、キリストの祝宴の先取りなのです。

日本福音ルーテル清水教会・小鹿教会 牧師 秋久潤

*私たちの教会は宗教改革者マルティン・ルターの流れを汲むプロテスタント教会です。
教会HP: <http://jelc-oshika.c.oooo.jp/>

「イースター」

柏木京子（清水教会）

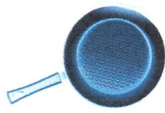
私はかつてリオのカーニバルの話聞いたとき、キリスト教とこの祭りが全く結びつきませんでした。50歳の頃からボランティア活動を通して、多くのブラジルの人たちと接してきました。私は陽気な彼らが日本で生活していくうえで、キリストが自分たちを守ってくれると信じていることを知りました。彼らは結婚式をカトリック教会で挙げ、子供が生まれたら乳児洗礼を受けさせるようにキリスト教が彼らの人生の支えになっています。私は母国からマリア像や聖書を持ってきている人々をたくさん見てきました。仕事のこと、文化や習慣の違いで悩んだとき彼らを救ってくれるのは「祈り」なのでしょう。

さてカーニバル（謝肉祭）は、キリスト教にとって40日間の四旬節の始まりを告げる行事です。南米ではカトリック教徒は、四旬節の間の金曜日は肉を食べることを控えるそうです。carnavalの語源はラテン語のcarne（肉）とlevar（避ける）に由来しているとのこと。禁欲と瞑想の日々を迎えるにあたりカーニバルの期間、彼らは仮装やダンスなどで思いっきり楽しむのでしょう。

私たち日本人は、先々のことに思い煩うことが多いと感じます。しかし彼らは神から与えられた今日一日を、精一杯生きて楽しまなければならないといひます。悩んでいる時間がもったいないそうです。私も楽天的なブラジルの人たちから学ぶことが多々あります。無心に神を信じ与えられた健康に感謝して、これからの人生を生きていきたいと思ひます。

キリスト教の行事というときクリスマスしか連想しない人々が多いのですが、キリストの復活を信じてお祝いする「イースター」は、私たちにとってとても大切なことです。今年も私はイースターを楽しみにしています。





良子さんのお料理コーナー



春キャベツのおいしい季節となりました!!

材料

キャベツ	1/2 個	
薄切り豚肉	200 g	一口大にきる
玉ねぎ	1/2 個	薄切りにする

※ これはあくまでも目安として書いたもので分量は、自由でよいと思います。

作り方

ザク切りのキャベツを鍋に入れ少量の塩を振り 1/9 位の水を入れてふたをして 2 分位火にかける。キャベツが緑の色になれば良い。煮すぎないように注意してください。フライパンに薄切り玉ねぎを入れてから豚肉を入れほんのり色づくまで豚肉を焼く。オイスターソース大さじ 1 位を入れ味付けする。オイスターソースがない時は醤油、みりんを同量で味付けても良い。

※ 皿にキャベツを盛り肉を混ぜ合せる。



※ 葉の部分はザク切り。

※ 茎の部分は薄く切る。

石川良子（小鹿教会）

私のイースター

寺澤節雄(小鹿教会)

イースターとは

「イースター」とはキリスト教国における復活祭のことで、十字架にかけられて死んだイエス・キリストが三日目に復活したことを記念し、また記憶する重要な祭りです。世界中のキリスト教国の教会では、特別に定められた春の日に特別の礼拝やお祝いの会があります。聖書には、十字架に掛けられて死んだイエス・キリストが、…三日目に蘇り、復活した…という記事があります。イースターは、このことを記念して行われるのです。この不可解な記事が聖書の核心部分であり、キリスト教の核心部分でも有ると言えます。真面目に考えると困惑の極みとも言える記事ですが、それが西欧のキリスト教を支え、キリスト教文化を存続させて来たのだと言えます。現代の神学者は、そのようなキリストの復活をどう捉えているのでしょうか。神学者E・ブルナーは言います。…人は生きて行く限り、希望喪失や死の不安をまぬがれることは出来ない。このような生の方向喪失感や出口の見つからない虚無感の中で、イエス・キリストの十字架上の死の業(贖い)に対する信仰を通し、神との和解が成り立ち、人は復活の確かさを知る道を知る…のだと。それゆえ、イースターは、神と人との関係の

うちに生じる、生の再生と言えます。復活の主イエス・キリストを信じる信仰のうちに、生の復活があるのです。貴方は、それを信じる事が出来ますか。

親鸞の信仰と私

私は幼少時から、日本の代表的佛教者、親鸞の信仰に養われて来ました。祖父の指導で朝晩仏壇の前で勤行をしました。戦前の尾張地方(愛知県)の田舎では、ごく普通のことでした。その時のお経は「正信偈(しょうしんげ)」と言います。それは浄土真宗の開祖、親鸞上人の「教行真証」という大著の中にある偈(ゲ：佛教詩)です。子どもの時はまる暗記でしたが、今ではその意味が良く判ります。

たとえば、…一切群生蒙光照(イツサイグンジョウ・モウコウショウ=み光を蒙らぬもの一人だに無し)…。あるいは、…獲信見敬大慶喜(ギャクシンケンキョウ・ダイキョウキ=信仰を得て敬って見れば、大いなる喜びがある)。即横超截五惡趣(ソクオウチョウサイ、ゴアクシュ=原罪に等しい五惡を横ざまに乗り越えてしまう)等々の意味があります。親鸞の信仰は<絶対他力(ぜったいたりき)>に依る救済と言われますが、それは阿弥陀佛=無量寿佛=永遠の命によって救われる…というものです。阿弥陀(アミダ)とは、佛教聖典であるサンスクリット

語にそのまま漢字を当てはめた言葉で、意味はく永遠の命です。それは聖書でもそっくりそのまま使われている言葉です。英語では、Eternity（エターニティ）と言われます。

親鸞・ルターの復活体験

私には幼少時から養われた親鸞の信仰に対する深い敬愛の念があります。その延長線上で、私は大学に入って内村鑑三の「ローマ書の研究」を読み、聖書のパウロによる「ローマの信徒への手紙」を読みました。そのいずれにおいても、復活（死と再生）こそが私の中心的関心事であったと思っています。それゆえ、青年期の私の切なる願望は、いはばく復活く願望です。…すなわち、新しく造り変えられること無しには、本当の自分らしい自分になれないと考えていたからです。ルーテル教会に入ったのも、親鸞とルターの信仰の共通性を感じていたからです。自伝にもあるマルティン・ルターの復活体験には強く惹かれました。ルターは修道士として聖書の真理を求め、その確信を得た時、「…天の門は開かれた」と言いました。これは親鸞の「…獲信見敬大慶喜（ギャクシンケンキョウ・ダイキョウキ）＝尊い信仰を得たなら大いなる喜びがある…」と同じ境地であると考えます。しかし、キリスト者は言うでしょう。…親鸞にはキリストの十字架が無いではないか…と。

十字架のキリストとは

そこで、…十字架のキリストとは何か…と問わざるを得ません。イスラエル民族は遊牧の民で、神への礼拝には生贄（いけにえ）を捧げる習慣が有りました。生贄の犠牲獣を捧げて神への執り成しを願ったのです。イエスという人は、自らこの執り成しの形を取って十字架刑を甘受しました。神はそのようなイエスを復活せしめ、神の窮極の人間救済の道を示したのだと言えます。子どもの頃、お寺さんにお供物として夏野菜の初物を届けに行ったお使いのことを思い出します。日本の佛教にはそんな凄まじい執り成しは考えられないことです。一方、キリストの十字架には、救済の手がかりがはっきり示されるわけです。…キリストにある真理はわれらを自由にする（ヨハネ福音書8：31）…といわれる所以です。人間のすべての罪咎（とが）をキリスト・イエスの十字架に投げかけ、赦しを願う信仰によって人は復活の道を歩くことが出来ると考えます。またそれによって、大いなる生の喜びが日々増し加えられるのです。そのような真理の道の指針に対するお祝いがイースターの祭りだと思います。

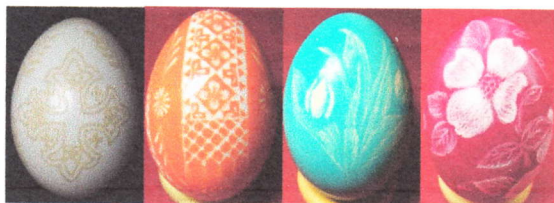
ルターとバッハの音楽

敬愛するルターに加え、私にとって教会でなくてはならないもう一つの理由はバッハの音楽です。バッハの「マ

タイ受難曲」が大好きで、静岡バッハ合唱団に入り「マタイ受難曲」に挑戦しました。また、高齢をも顧みずよたよたとオルガン弾きにまで手を染めてしまった次第です。ルターは礼拝改革を進める中でドイツ語で説教を取り次ぐことと、会衆と共にドイツ語で讃美歌を歌うことを押し進め、誰でもが歌えるようにしました。自ら沢山の讃美歌を作りました。それはルーテル教会の礼拝の特徴でもあると言われます。バッハはルターよりだいぶ後の人ですが、ルターの影響の強い音楽家であると言われます。教会音楽は教会カンタータと言われますが、それにはコーラル（合唱）が伴います。小鹿教会の礼拝を体験されることをお勧めする次第です。***このように、イースターは命の復活を指し示す祭りです。私達が復活の恵みに与ることが出来る者となれば、祭り中の祭りであるといえます。



エル・グレコ…
キリストの復活より



小鹿教会

イースターピサンカ展

4月4日（水）－ 7日（土）

10時－15時（4日〔水〕は12時から）

（予約不要・入場無料）

制作：和田雪香



小鹿教会でピサンカ（写真）の
展示会を行います。

ピサンカはウクライナの伝統工芸品
でもあるタマゴです。

ニワトリやアヒルのタマゴに
ろうけつ染めの手法で
模様が描かれています。





春のプログラムのご案内



受難週の祈り・礼拝

イエス様が私たちの救いのため、十字架に架かれたことを覚えるときです。
どなたでもご参加いただけます。

3月29日(木)	13時30分～14時	清水教会 (29日は清水教会のみ)
3月30日(金)	13時30分～14時	清水教会
3月30日(金)	19時00分～19時30分	小鹿教会



こどもイースター (小鹿教会)

3月31日(土) 14時～16時 小鹿教会

こどもたちと一緒に、イースターをお祝いしませんか？

たまご探しやゲーム、工作をして、楽しい時を過ごしましょう！

(保護者様も一緒にご参加いただけます。予約不要、参加費無料)

イースター礼拝 イエス・キリストの復活をお祝いする礼拝です。

4月1日(日)	午前 9時00分～10時30分	清水教会
	午前 11時00分～12時30分	小鹿教会

子育て会 (小鹿教会)

4月13日(金) 午前10時30分～12時 小鹿教会

お子さんと保護者さんが一緒に楽しんだりおしゃべりできる場を解放しています。

今月はよもぎ団子を一緒に食べます。赤ちゃんも歓迎です。(予約不要、参加費無料)



チャリティコンサート (清水教会) 5月27日(日) 14時 (予約・チケット不要)

ヴァイオリニスト真野謡子さんとギタリスト松田弦さんによるデュオ演奏です。入場無料ですが、席上での自由献金があります(熊本地震による被災学生の学費支援に用いられます)。

主催：日本福音ルーテル社団 http://jelanews.blogspot.jp/2018/02/2018_13.html

礼拝では何をしてるの？

キリスト教の礼拝には、他宗教のかたや、キリスト教を信じておられないかたも参加することができます。賛美歌や祈り、聖書の朗読とメッセージ(説教)、イエスの最後の晩餐を記念する食事(聖餐式^{せいさんしき})を行います。全体の時間は1時間30分くらいです。礼拝中、献金の呼びかけがありますが、強制ではありません。

もし、はじめて礼拝に参加しようと思われましたら、日曜日に直接教会にお越しください(清水教会は朝9時、小鹿教会は朝11時から)。受付でお名前を伺いますが、「匿名で」とおっしゃっていただいてもかまいません。

礼拝をはじめ教会のイベントには、どなたでもご参加いただけます。私たちの教会に限らず、お近くに教会がありましたら、ぜひお気軽にお尋ねください。

<集会案内>

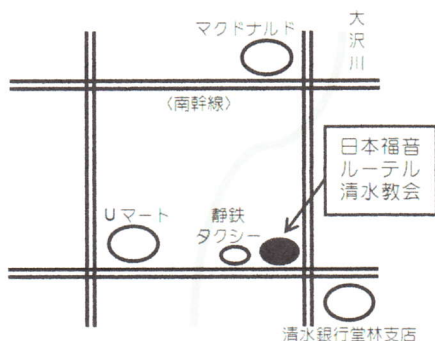
日本福音ルーテル清水教会

〒424-0844 静岡県静岡市清水区西高町 16-10

☎ 054-352-8910

- | | | |
|-----------|-------|-------------|
| ◆主日礼拝 | 日曜日 | 午前9時～10時30分 |
| ◆英語聖書朗読会 | 日曜日 | 午前8時～9時 |
| ◆女性会例会 | 第2日曜日 | 午後1時～3時 |
| ◆聖書に聴き祈る会 | 木曜日 | 午後1時30分～3時 |

どなたでも
ご自由にご参
加ください。



日本福音ルーテル小鹿教会

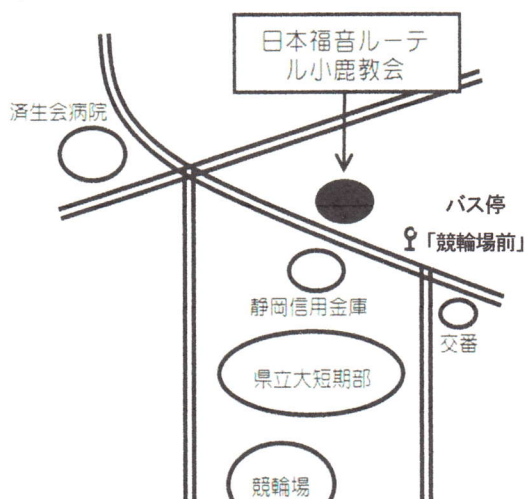
〒422-8021 静岡県静岡市駿河区小鹿 1-18-11

☎ 054-285-7725

E-mail: nre22021@nifty.com

URL: <http://jelc-oshika.c.ooco.jp/>

- ◆教会学校 (幼児～高校生)
日曜日 午前9時30分～10時30分
- ◆主日礼拝 (子供を含めてどなたでも)
日曜日 午前11時～12時30分
- ◆聖書に聴き祈る会
水曜日 午前10時30分～11時30分
午後 7時30分～ 8時30分
- ◆女性会例会
第2水曜日 午前10時30分～11時30分
- ◆バイブル・キルトの会
第4金曜日 午前10時30分～12時30分
- ◆子育て会
第1金曜日 午前10時30分～12時



静鉄バス美和大谷線「競輪場前」下車徒歩2分